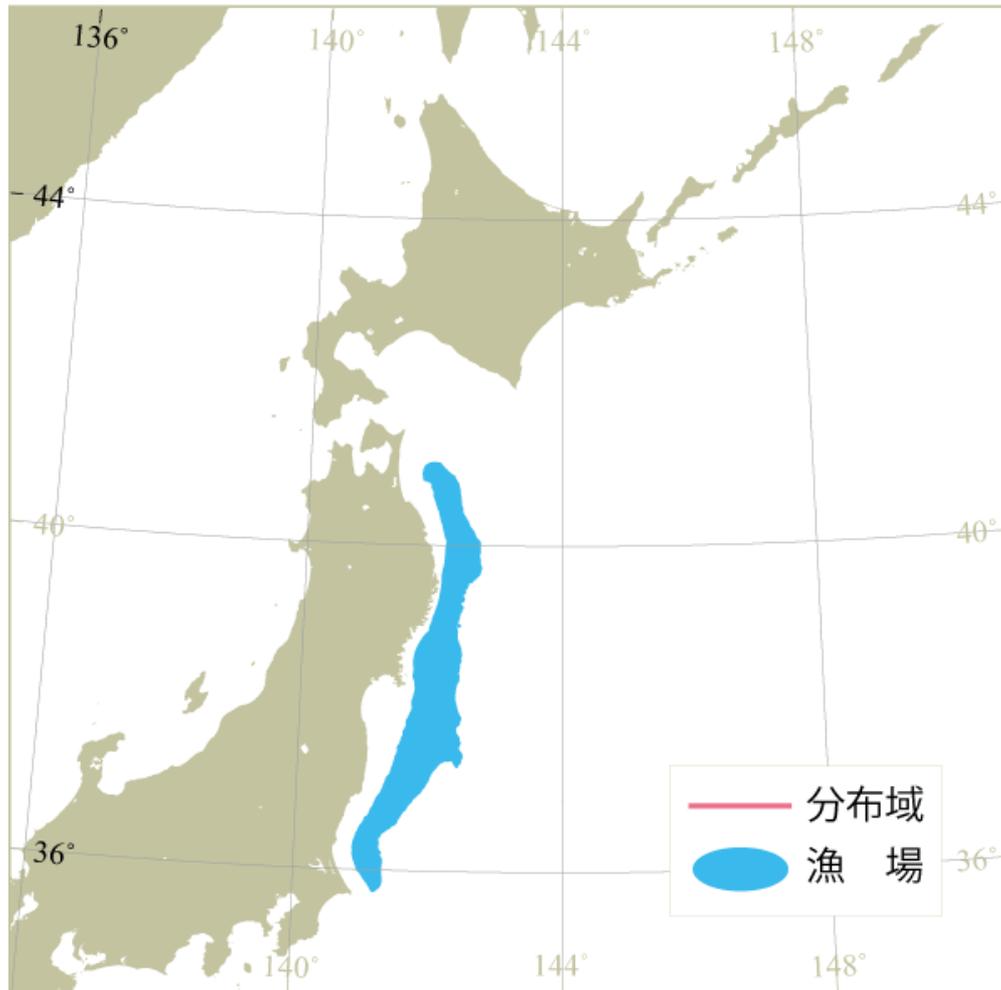




サメガレイ太平洋北部 令和3年度資源評価結果

生物学的特性

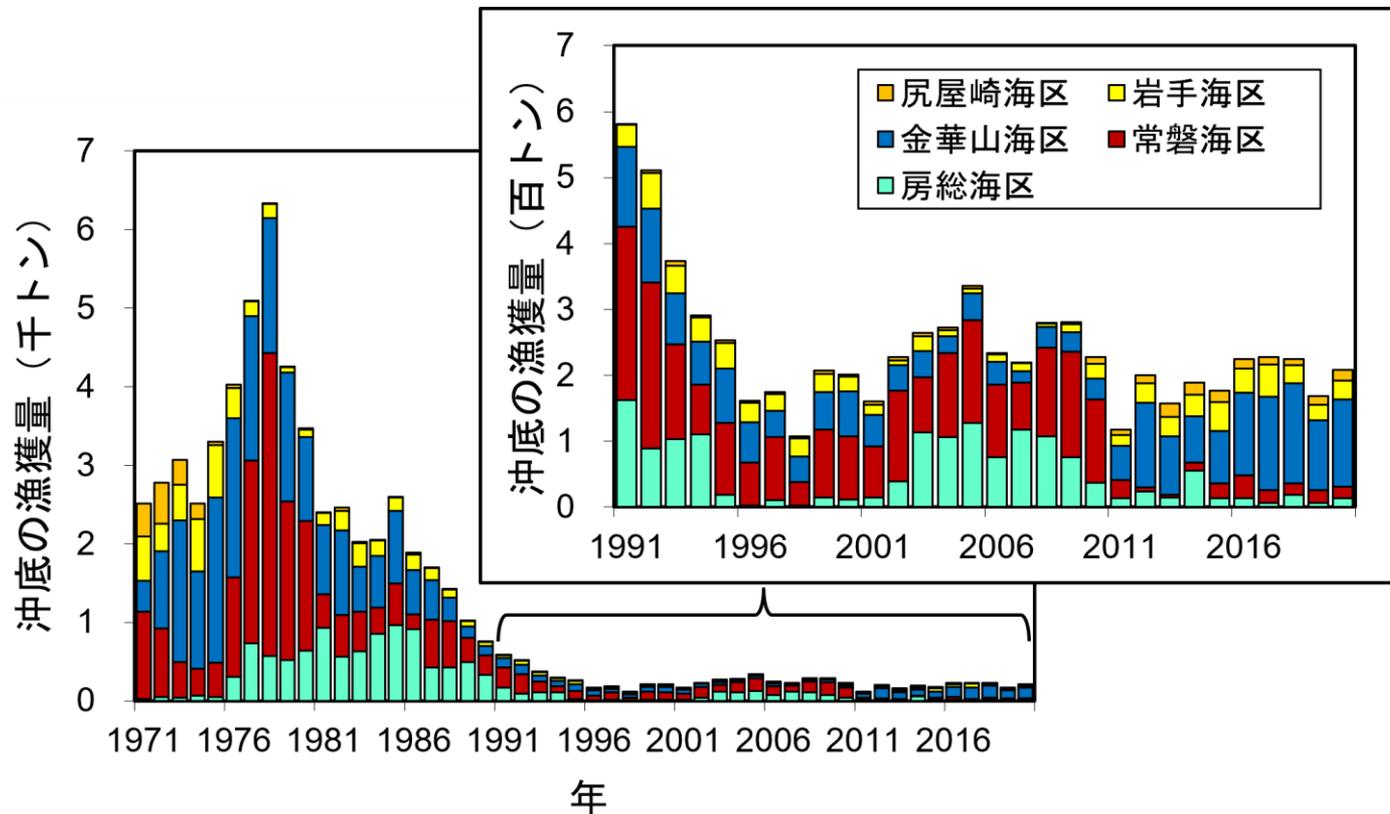


生物学的特性

- 寿命: 観察された最高齢は雄15歳、雌22歳
- 成熟開始年齢: 雄2~3歳、雌3~4歳
- 産卵期・産卵場: 産卵盛期は1~2月 産卵場の水深は600~900m
- 食性: 主にクモヒトデを摂餌し、その他の餌生物は胃内容物中にほとんど認められない
- 捕食者: 報告なし

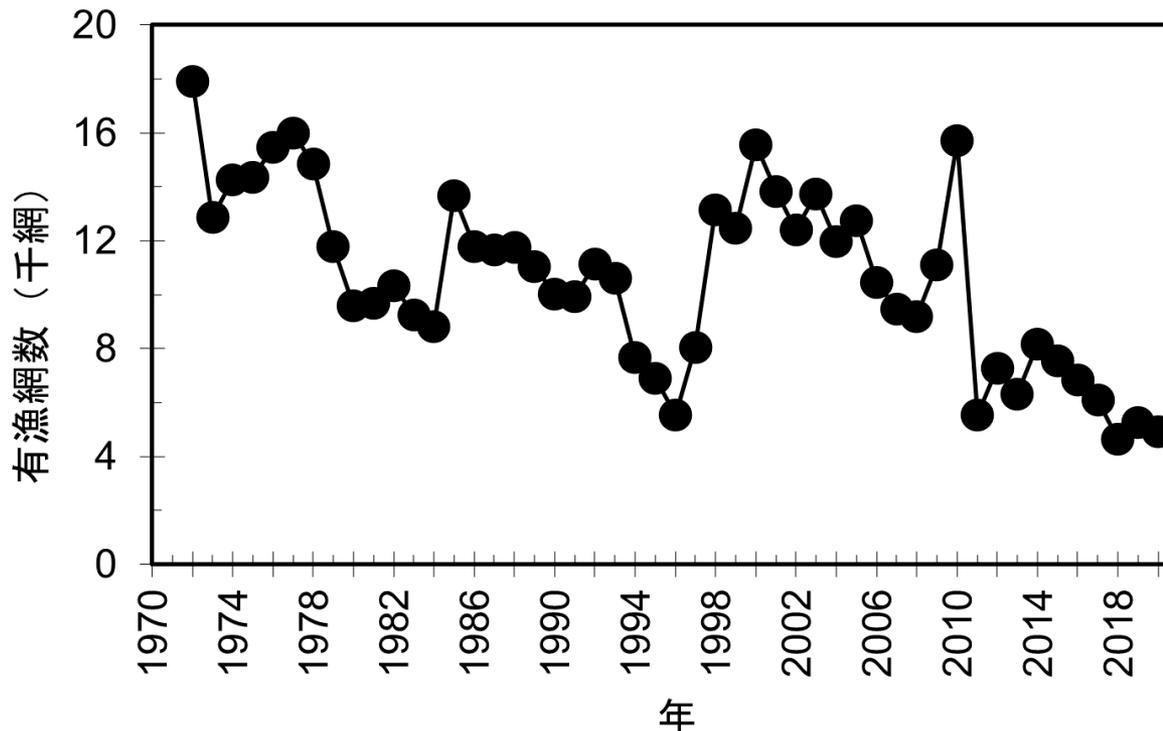
- 主漁法は沖合底びき網漁業 (沖底)
- 主漁場は金華山~房総海区

漁獲の動向①



- 沖底では1971年から現在まで金華山～房総海区での漁獲が多い
- 沖底の漁獲量は1978年から1998年にかけて減少し、その後は200～300トン程度で推移
- 2020年の沖底の漁獲量は208トン、全漁業種を合計した漁獲量は218トン

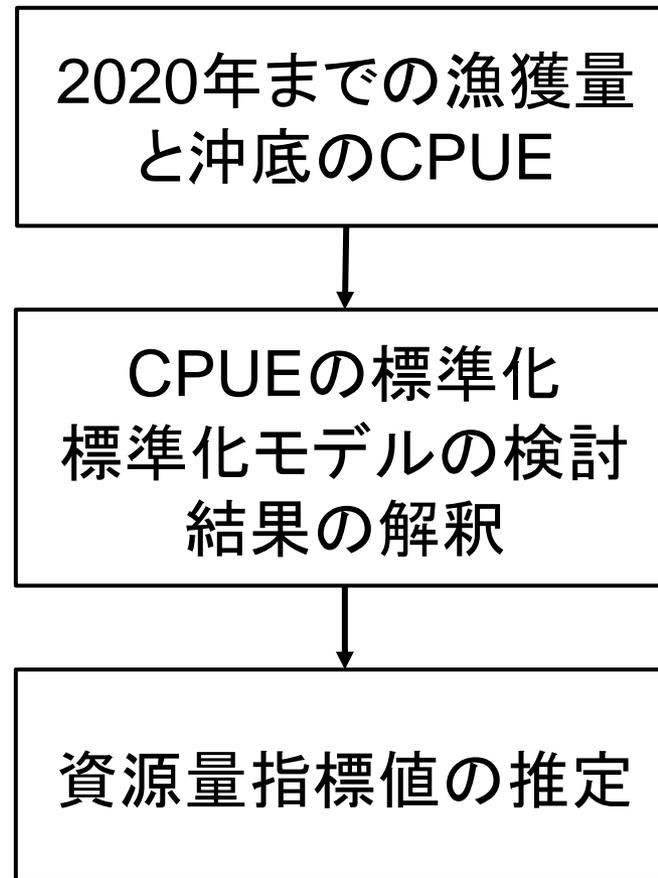
漁獲の動向②



※金華山～房総海区の沖底の有漁網数（漁船ごとのサメガレイが漁獲された日の網数の合計）の推移

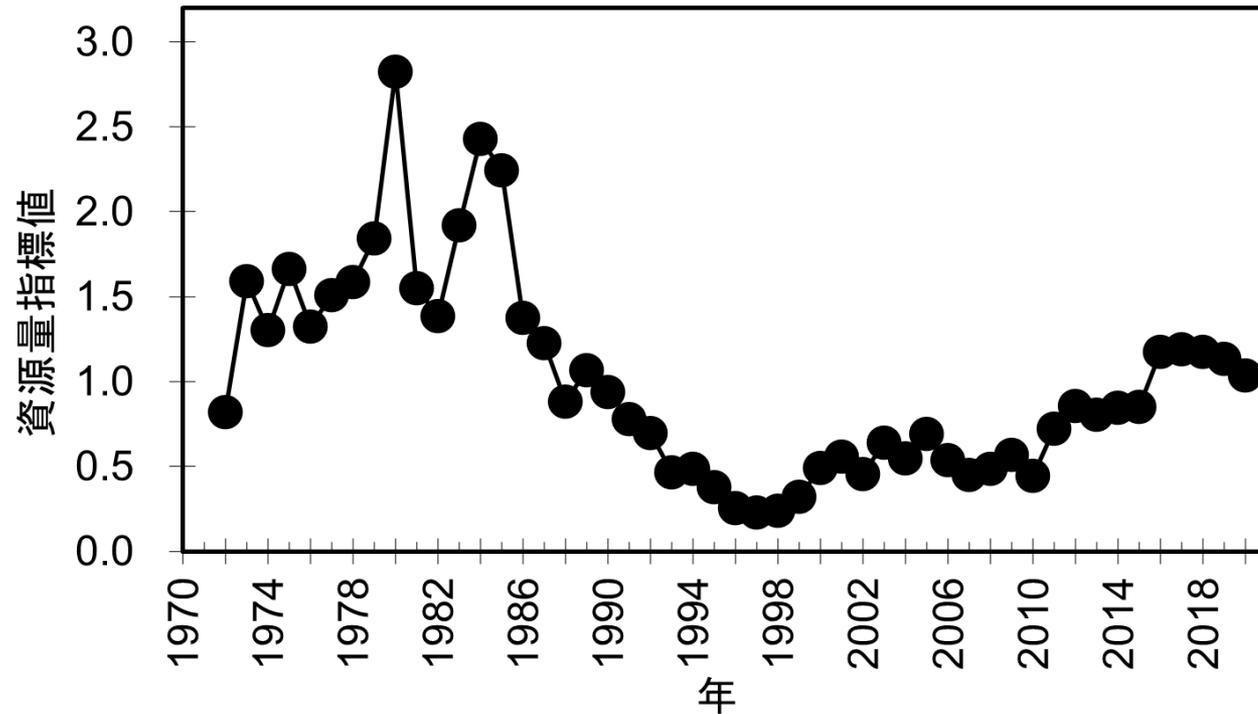
- 震災以降努力量は減少し、2011年以降は4,639～8,180網で推移
- 2020年の沖底努力量：4,922網

資源評価の流れ



管理に係る目標基準値、資源の動向等については、本年度中に開催される研究機関会議資料に記述します

資源の動向



※金華山～房総海区の沖底の標準化CPUEを平均値が1となるよう規格化して資源量指標値としている

- 資源量指標値は1973～1987年は1.2以上で推移、1990年以降は急激に減少し、1997年には最低値の0.23、2011年以降は増加傾向で、2017年には1.19となった
- 2020年の資源量指標値は1.04で、1990年以降では5番目に大きい値

資源評価のまとめ

- 資源量指標値は1997年にかけて急減し最低値となったが、震災後には増加がみられている

管理に係る目標基準値、資源の動向等については、本年度中に開催される研究機関会議資料に記述します。